

(総務委員会)

新しい下呂温泉の魅力を創出すべく、下記について実施したい。

- 1．協会事業全体に対する総合的な企画及び調整
- 2．国、県の事業参加を通じて効果的な下呂温泉の発信と情報の収集
- 3．濃飛横断自動車道及び中央自動車道のアクセス道路整備促進の諸活動
- 4．岐阜県空港の早期実現の運動
- 5．下呂温泉のシンボリックな外湯建設の推進
- 6．ディステーションキャンペーンへの対策
- 7．リニアエクスプレス中央新幹線の早期実現の陳情
- 8．国際健康保養地づくりの促進
- 9．南飛驒総合健康アリーナ建設の促進
- 10．都市圏からの通勤列車の増発促進
- 11．下呂市並びに旅館組合等関係団体との連携の強化
- 12．県及び近隣観光協会及び市内観光協会との交流活動の強化
- 13．日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換
- 14．下呂温泉まつりの共催
- 15．市及び市議会との観光振興会議などの開催
- 16．芸妓芸能の育成
- 17．地元教育機関との交流
- 18．防犯活動の推進
- 19．観光関係功労者、優良従業員の表彰
- 20．下呂温泉観光協会だよりの発行

(誘致宣伝委員会)

観光産業の消費構造の変化へ対応しながら、旅行業者並びにマスコミに対する誘致会議、一般消費者へのPRイベントなど相乗的に実施し、パンフレット等の作成並びに広報宣伝活動など効果的に展開したい。また、外国人観光客の誘致に向け、一層努力して行きたい。

1. 大都市圏での観光客誘致会議の開催
2. 旅行業者並びにマスコミ各社へのキャラバン隊の実施
3. 観光展及びPRイベントの実施
4. インバウンド事業の促進
5. 国、県並びに県観光連盟及び関係団体が実施する観光展、イベント等への協力
6. 旅行業者・インターネット関連業者等との連携を図り、魅力ある旅行商品の提案
7. 各種大会の誘致
8. 宣伝用印刷物の作成
9. マスメディアに対する広告出稿
10. インターネットの活用(旅館組合の下呂温泉Webページへの協力)
11. JR高山本線利用促進の事業の実施

(まちづくり委員会)

新たな時代の温泉地として、景観は重要な要素の一つです。行政や区、各種団体との連携を図った飛騨川クリーン大作戦と花木の植栽等を実施し、魅力ある温泉地としての「まちづくり」について考えて行きたい。

1. まちづくりへの提言
2. 飛騨川クリーン大作戦の実施
3. 花木の植栽と定期的な管理
4. 梅林公園作りと名所作りの推進
5. 旧飛騨街道の再生事業への推進

(交流研修委員会)

観光客のニーズが多様化するなか、下呂温泉の活性化を図るために、観光客のトレンドを的確に把握しなければならない。高山線強化促進という重要な目的も併せ持つ「車上セミナー」を実施したい。また、韓国儒城温泉との交流事業を実施し国際観光地としての今後の下呂温泉の取り組みについても研究して行きたい。

- 1．協会の研修及び高山本線強化促進を目的に車上セミナーを開催する
- 2．観光講座等への、会員の積極的参加の推進
- 3．接客サービス研修会の開催
- 4．韓国儒城温泉との交流事業の実施

(おもてなし委員会)

当地を訪れる方々への感謝とご旅行の思い出づくりのお手伝いとして、温泉街にて下記の事業を実施したい。また、JR東海のさわやかウォーキングへの協力もして行きたい。

- 1．下呂温泉いでゆ夜市の企画、運営
- 2．歌塚供養祭・歌塚歌謡祭の企画、運営
- 3．ウォーキング大会等、各種アウトドアイベントへの参加協力
- 4．キャンドルイルミネーションの実施
- 5．温泉街(市内)における各種イベントの実施

(青年部)

- 事業方針 -

平成18年度は、景気の上向き感に乗り、旅行市場の見通しは、上昇傾向にあるという見解が大半をしめ、市場のひろがり期待されています。しかし、全国的に温泉地では、旅行形態の変化に対応するために、その温泉地の特性を活かした官民一体となった明確な方向性が打ち出せないまま、いまだに構造的な課題を抱えています。そして、経営不振による倒産・廃業が後を絶ちません。下呂温泉といえども、健闘してはいるものの、厳しい状況であることは間違いありません。

この地域にとって観光経済効果は、直接観光客と接する運輸業、宿泊業、飲食業等の観光産業のみならず、二次、三次産業である商工業や一次産業の農林漁業まで広範囲に及ぶ経済波及効果の大きいことはいまでもなく、それを正しく調査・分析をして、その情報を地域に発信することにより観光振興への理解と協力を求めることが重要であります。また先人が築き上げた下呂温泉の知名度の高さ、下呂温泉の泉質のすばらしさを最大限に活用するとともに、観光地の魅力につながる自然、景観、歴史、文化、産物など地域の観光資源の再発見に向けての活動など、今年度の青年部は再度観光の基礎造りを大切にしたいと積極的に活動を展開していきたいと考えています。

- 事業計画 -

1. (社)下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバンの実施(下呂温泉旅館協同組合青年部との協力事業)
3. 温泉と健康に関する調査研究
4. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・ 緑、紅葉や花木に植栽
5. 「TOG会議」等、諸団体との連携
 - ・ 「花火ミュージカル冬公演」への参画
6. 「130万人誘致客対策」について新たな観光資源の発掘・研究・提案
7. 部員拡大

「TOG会議」

下記の5つの青年団体が集まり、様々な観点と立場から街作りを考え行動している団体です。

(社)下呂青年会議所、下呂商工会青年部、下呂温泉旅館協同組合青年部

(社)飛騨法人会下呂支部青年部会、(社)下呂温泉観光協会青年部